



# お金って なに？



じ かん め  
1時間目  
かね  
お金ってなに？

# 1 お金の成り立ち

テキスト P2

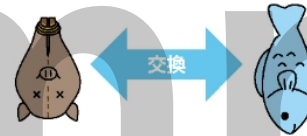
## ① 自給自足の生活

- ・自分でものを育てる、つくる
- ・動物、魚、鳥をとる
- ・木になっている実をとる



## ② 物々交換の生活

- ・自分の欲しい物と相手の持っている物を交換
- ・交換することにより欲しい物を手に入れて生活



## ③ 物品貨幣で交換

- ・自分の欲しい物と相手の持っている物があわない
- ・物々交換したい人が一か所に集まって交換
- ・誰もが欲しがり、集めたり分けたりでき、長持ちするものを交換の「仲立ち」として使用

“仲立ち”  
= 物品貨幣



## ④ 金属貨幣

- ・価値のある鉱物を鑄造して作ったお金
- ・日本では708年に「和同開珎」が日本初の貨幣として発行



## ⑤ 兌換紙幣

- ・銀行が金庫に保管している金と同じ額の紙幣を発行
- ・金や銀と引き換えることが保証されているお札



## ⑥ 不換紙幣

- ・金や銀に換えられず、国の信用に基づくお札



# 物々交換でカレーの材料を集めようver.1

テキスト P3

準備 (対象人数 2~6人)

- カードのカラー面を上にして机の上を広げ、マーケットをつくりましょう。



- マーケットから同じ材料のカードを6枚とり、自分の「手持ち札」とします。



- じゃんけんて順番を決めましょう。



すす かの  
進め方

テキスト P4

① 順番がまわってきた人はマーケットから欲しい材料のカードを引きます。



② カードをめくり、裏に自分の「手持ち札」の材料が描かれていたら交換成立です。「手持ち札」をマーケットに出して、交換が成立したカードを手元に残します。



③ めくったカードの裏に「手持ち札」とは違う材料が描かれていたら交換不成立です。引いたカードをそのままマーケットに戻しましょう。



④ マーケットのカードを1回引いたら、次の人の順番になります。



⑤ 何周か繰り返して、6種類全ての材料カードを早くそろえた人の勝ちです。



# 物々交換でカレーの材料を集めようver.2

テキスト P5

はってん  
発展ゲーム

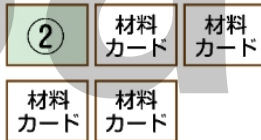
## いろいろ交換券について



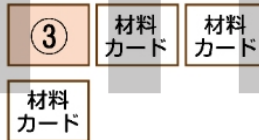
ざいりょう まいふん  
材料カード 1枚分



ざいりょう まいふん  
材料カード 2枚分



ざいりょう まいふん  
材料カード 3枚分



### 準備

手元にある「いろいろ交換券」に書かれた数字+材料カードの枚数が、6になるように自分のカードをそろえる。

### 交換する時

- 裏を見ないで希望のカードと交換できる。
- 書かれている数字と同じ数の材料カードと交換することができる。
- まとめて使うことができる。  
例えば、①と②が手元にある場合、2枚をまとめてマーケットに出すと、3枚の材料カードと交換できる。
- マーケットにある「いろいろ交換券」は、手元の材料カードと交換して手に入れることができる。

※手元の材料カードの枚数+交換券に書かれている数字が常に6になるように注意する。

## 2 お金の3つの役割

### ① 価値を交換できる(交換)

物々交換では、欲しいものが互いに一致しないと交換できないが、お金を使えば欲しいものやサービスと交換できる。



### ② 価値を保存できる(貯蓄)

お金を金庫や銀行に貯めておくことができる。お金は腐ったり劣化することがないので、使わない分は、いざという時のために銀行や貯金箱に貯めておくことができる。



### ③ 価値がはかれる(尺度)

お金でモノやサービスの価値を比較できる。たとえば、すしは2,500円、ラーメンは900円のように値段がついていると価値が一目でわかる。



2,500円



900円

にちじょうせいかつ  
日常生活でお金がかかるもの

テキスト P7

へいじつ きゅうじつ  
平日と休日の1日(例)

